

第42回全日本実業柔道個人選手権大会戦評
(主に当連盟加盟チーム選手を中心)

女子52kg級

女子52kg級は、新人橋本、オール寝技の一本勝で優勝。

優勝した地元兵庫県出身でコマツの新人橋本優貴三段は、得意の寝技で対戦相手を圧倒する。伊部尚子参段（ぎふ柔道クラブ24）との準決勝戦においても、終始攻め続け、3分40秒過ぎに伊部の巴投を外して崩袈裟固で抑え込む。

準優勝のAsh柔道クラブ新人の斉藤美貴二段は、足技の冴えを見せて準決勝戦まで難なく進出。

第3位入賞の和泉三友紀（日本エースサポート）は、初戦の第2回戦、第3回戦を難なく制して初の準決勝戦。

準決勝戦第1試合

2 和泉 三友紀 大内刈 ○2 斉藤 美貴
(日本エースサポート) (Ash 柔道クラブ)

共に右組みの両者、激しい組手争いで試合が始まる。和泉が攻めあぐねるところ、1分12秒、斉藤は組み際に右釣手で奥襟を押さえるや否や、小内刈を仕掛け、同時に右手で踵返に。続いて最後は右大内刈でとどめを刺すという見事な連絡技を見せ、さしもの和泉も為すすべなく後方に倒れる。主審は技ありを宣言するも副審2名が一本勝として、勝負が決まる。

準決勝戦第2試合

3 橋本 優貴○ 崩袈裟固 3 伊部 尚子
(コマツ) (ぎふ柔道クラブ24)

▽決勝戦

2 斉藤 美貴 横四方固 ○3 橋本 優貴
(Ash 柔道クラブ) (コマツ)

新人同士、共に右組み。開始早々から組手争い。組み止めた橋本は力強く齋藤を前に引き倒し、伏せた齋藤を粘り強く攻め、最後は齋藤を裏返して、開始46秒、横四方固で抑え込む。